

地域づくり三種の神器は？

地域づくり三種の神器は？ 研修会を開催



くり事業の成果報告や先進事例紹介としての講演などが行われました。

「この村はみんな元気」と題した講演で、鳥取県日野町の「菅福元気邑（すげふくげんきむら）」の小谷博徳さんは、地域づくり三種の神器として「馬鹿者（のぼせ者）」「よそ者（外部の力）」「若者（60才が青年）」を挙げ、特に高齢化が進む地域では「外との交流」によって外部の力を地域づくりに活用することの必要性を指摘されました。

「お金について考える」をテーマにパネルディスカッションも行われ、補助金が終了した後の活動経費や活動を継続するための考え方等について活発な意見交換が行われました。



菅福元気邑の小谷博徳さん

文化活動の推進にむけ

文化協会総会を開催

7月12日、下熊谷地域福祉サプセンターを会場に雲南市文化協会の総会が開催されました。

これまで各町で活躍してきた文化協会は今年3月18日に開催された設立総会をもって雲南市文化協会として新しい一歩を踏み出し、今回が初めての総会。

景山道隆会長の「雲南市文化協会の今後の活動の方向性について重要な会議なので、慎重な審議をお願いしたい」とのあいさつのあと、各町の文化協会支部代議員により、「今後、各町での文化協会の連合体のような組織の他にも、音楽や文学など分野ごとに町を超えた連携を強化すべき」、「市内のイベントと連携してきた活動を大切にしながらも、出演者が町を超えて参加できるような工夫も考えられないか」など文化活動を発展的に継承する方向性を確認しながら、各町を越えた横断的な活動や協会加盟団体の活動の融和等について熱心に議論されました。

現在、雲南市文化協会の加盟団体数は111団体、延べ1,710人の登録。加盟等お申し込みは市文化協会各町支部へ。



雲南ニュース

7月8日、旧町村ごとにあつたふるさと会を連携・統合した「雲南市近畿ふるさと会」の設立総会が大府吹田市のホテル阪急エキスポートで盛大に行われました。



ました。

速水市長は、「すばらしい環境に恵まれた雲南市は幸運だ。今秋から上映される映画『うん何?』を通じて雲南市をPRするなど、他の都市のものまねでない雲南市ならではのまちづくりを行っていききたい」とあいさつ。

総会に引き続き祝賀会が開かれ、会場では旧町村の垣根を越えた会員同士の新たな出会いや再会の姿も見られ、初会合は大盛況のうちに幕を閉じました。

総会では、

初代会長に就任された福本明さん（大東町出身）が「いま統合したばかりだが、ふるさととはひとつであるという思いがある。ふるさと雲南市の現状は厳しいが、ふるさとに誇りを持ち、感謝をしながらふるさとの発展に寄与していきたい」とふるさとへの思いを語られました。

雲南市長の「コ・ラ・ム

毎年、私の自治会では田植え後の慰労や親睦を目的とした日帰り旅行があります。今年は、私に隣保班長が回ってききましたので、他の3人の隣保班長さんと旅行の幹事を勤めました。この旅行の歴史は30年以上にもなりますので、近隣は大方行き尽くしたということから、今年は雲南市内を探索しようということから、6月に吉田町に伺いました。参加人員30名でしたが、感想は「初めて来た」、「歴史があつて良いところ」、「市内でも知らないところがいっぱいある」などなど、楽しく有意義な一日が過ごされました。

また、7月には市長として三刀屋の雲見の滝開きに行き、数千年をかけて自然が創りあげた素晴らしい景観との出会いに感動しました。

広大な雲南市にとって地域の一体感の醸成は喫緊の課題です。市民の皆様にも市内で知らないところがたくさんあると思われます。

様々な機会を捉えての市内探訪を是非ともお勧めします。雲南市の良さを必ず発見されると思いますし、そのことは新しいふるさとへの親近感、一体感の醸成に大きく役割を果たすことだと思います。



記者会見にて（7月10日）

近畿ふるさと会の設立

ふるさと会の発展を願う

